

質問に対する回答について
工事名) 秋田自動車道 黒沢工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	間接工事算定の適用工種区分をご教示ください。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
2	共通仮設費率、現場管理費率について施工地域区分をご教示ください。	本工事は、該当なしのため特記仕様書に記載しておりません。
3	労務単価について国土交通省から令和5年3月から適用する単価が発表されました。当工事では適用されるかご教示ください。	令和5年2月21日掲載の質問番号9に対する回答を参照ください。
4	11月22日から4月12までは冬期休止期間となっておりますが、現場管理費率について積雪寒冷地の施工期間による施工時期、工事期間等を考慮した現場管理費率の補正は行っていますか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
5	金抜設計書 26 5-(2) 用排水管 P (P o -B)- φ 0. 4 0 (S d -B)について詳細図面が無く掘削深さが分かりません。平均の掘削深さをご教示ください。	閲覧資料を参照ください。
6	金抜設計書 70 特-(2) 地盤改良工で使用するセメント系固化材の種類は一般軟弱土用と考えてよろしいですか。またフレコン、バラのどちらですか。異なる場合は種類・規格・仕様をご教示ください。	特記仕様書 28-12 に基づき貴社の施工計画にてお考えください。
7	工事用栈橋で使用する覆工版は従来型、補強型のどちらになりますか。ご教示ください。	設計図 (6/7) 工事用仮栈橋工及び閲覧資料を参照ください。
8	単価項目 18 切土補強土工 D19・L=6.0m について削孔径が 90mm のため、土木工事積算基準の切土補強土工の適用範囲外です。施工歩掛は一般社団法人 全国特定法面保護協会の歩掛を使用しているのでしょうか。それとも、歩掛の特別調査又は見積徴収を行っているのでしょうか。ご教示ください	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。

9	単価項目 18 切土補強土工 D19・L=6.0m について切土補強土工 D19・L=6.0m の設計アンカー力をお示してください。	共通仕様書 4-23 に示す通りです。
10	特記仕様書 28-11 安全施設撤去工 立入防止柵 SAH3 は土木工事積算基準の立入防止柵工に対応していない規格です。歩掛は特別調査と見積徴収のどちらを行っていらっしゃるのかご教示ください。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
11	割掛（仮設備工事費）ターンテーブル設備費 ターンテーブルは、建設機械損料表に記載のダンプトラック用（積載質量 10t 車）の損料で計上すればよろしいでしょうか。賃料で計上されている場合、賃料単価は特別調査でしょうか見積徴収でしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
12	割掛（仮設備工事費）ターンテーブル設備費 ターンテーブルの設置撤去費用も含まれていると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	その通りお考えください。
13	工事用仮栈橋工に使用する継板について、寸法エキストラと削孔エキストラは考慮されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	積算に関する質問にはお答えできません。貴社にて積算願います。
14	特記仕様書 28-4 構造物掘削について 構造物掘削 特殊部 A の仮設材リース期間は 3 カ月間と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
15	特記仕様書 28-4 構造物掘削について 構造物掘削 特殊部 B の仮設材リース期間は 5.5 カ月間と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
16	特記仕様書 28-4 構造物掘削について 構造物掘削 特殊部 C の設材リース期間は 6 カ月間と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
17	特記仕様書 28-24 工事用仮栈橋工 覆工板のリース期間の内、当工事での賃料支払い期間は 35 ヶ月と考えてよろしいでしょうか。ご教示ください。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
18	JR 北上線と隣接しているため列車見張員の配置は、必要はあるでしょうか。ご教示願います。	現時点で配置不要とお考えください。なお、特記仕様書 29-1 (7) に示す通り関係機関との協議によって列車見張員の配置が必要となった場合は、別途協議事項とお考えください。

19	採用された設計単価月をお教えてください。	令和5年2月21日掲載の質問番号9に対する回答を参照ください。
20	設計と実際の施工方法・施工時間にかい離が生じたため、工期内に工事が完了できない場合は、別途工期延伸はして頂けるのでしょうか。ご教授願います。	監督員が必要と認めた場合について、別途協議事項とお考えください。
21	設計図(6/7) 工事用仮栈橋工において 別途協議で追加する可能性がある「拡幅施工部」の協議時期は当初設計の仮栈橋施工時期に合わせて行われると考えてよろしいでしょうか。 (拡幅部施工が協議を経て、当初設計箇所と同時施工の是非)	当初設計の仮栈橋施工時期とは異なる時期を想定していますが、特記仕様書 29-1 (6) に示す通り施工時期含めて別途協議事項とお考えください。
22	特記仕様書 28-14 工事用栈橋工において 仮栈橋材料は支払「材料費(中古品)等」とありますが、仮設材(鋼材)は全て購入品(中古品)と考えてよろしいでしょうか。 その場合、HTB等中古品では購入できない資材が含まれていますが、積算上は全て中古品として新品購入は協議事項との理解でよろしいでしょうか。	ボルト・ナット類は新品とお考えください。なお、交付図書を訂正致しますので訂正公告をご確認ください。
23	特記仕様書 28-14 工事用栈橋工において 購入品(中古品)の場合、仮栈橋設置期間が上部工工事完了までなので「スクラップ控除」は計上しないと考えるよろしいでしょうか。	その通りです。特記仕様書 28-14 に示す通り、本工事は工事用仮栈橋の設置となります。
24	設計図(6/7) 工事用仮栈橋工、参考図 仮栈橋仮設計画図、特記仕様書 28-14 工事用栈橋工において 施工幅、杭間隔により 200 クローラクレーンのみで支持杭、下部工、上部工、土留工を施工すると理解しておりますが、他の揚重機械が補助作業に必要なとなった場合は協議事項と考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。
25	設計図(6/7) 工事用仮栈橋工、参考図 仮栈橋仮設計画図、特記仕様書 28-14 工事用栈橋工において 上部工(桁設置まで)、下部工の各施工時に施工足場、人用栈橋が必要と思われませんが設計図書からは読み取れません。安全施設なので詳細施工計画時に立案することになりますが、協議対象と考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上願います。

26	<p>設計図(1/7) 本線(下り線) 構造物取壊し工詳細図(3)、特記仕様書 16-2 建設副産物の処理方法、28-9-1 構造物等取壊し工において補強土壁取壊しについて</p> <ul style="list-style-type: none">・撤去した鉄屑の処分方法を明示してください。・撤去には背面土砂の掘削が伴いますが、土砂の掘削、運搬、敷き均しも撤去数量に含まれていると考えてよろしいでしょうか。	<p>貴社の施工計画に基づきお考えください。背面土砂の掘削、運搬、敷き均し等について、道路掘削土砂 A に含むものとお考えください。</p>
----	--	--